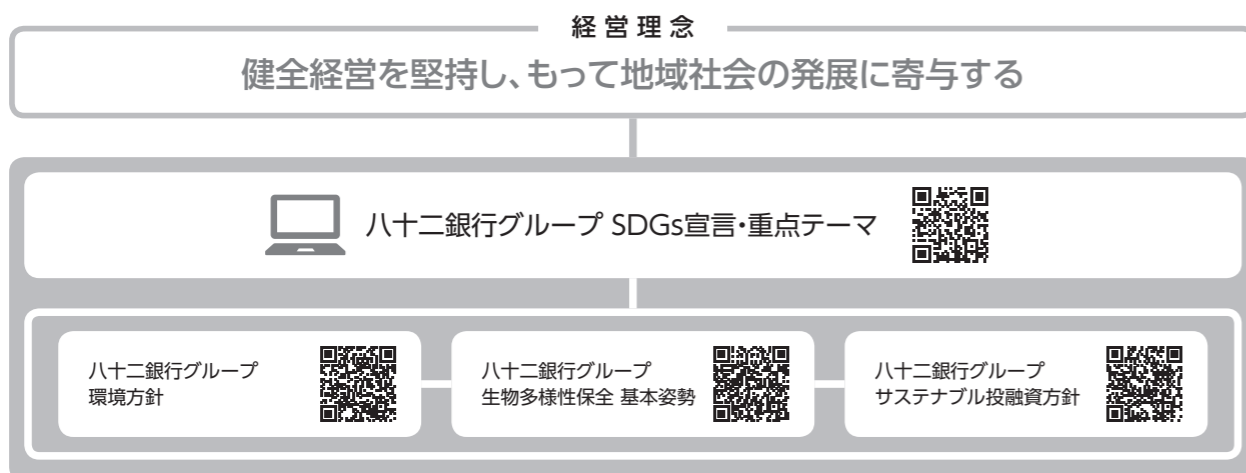


# 環境保全活動の取組み

豊かな自然環境に恵まれた長野県に基盤を置く当行は、環境に配慮し、自然と共存しながら地域社会とともに発展することを目的に、環境問題への取組みを進めています。

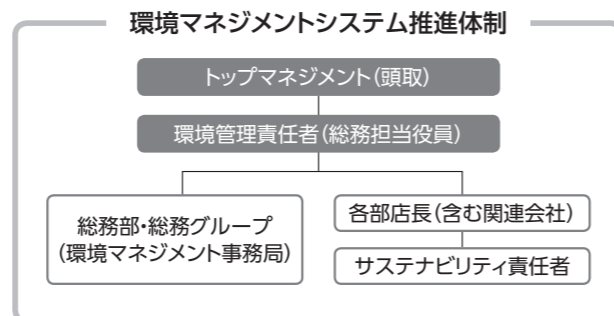


## 方針



## 体制

環境問題に対する全行的な取組方針を組織的に検討するため、頭取をトップマネジメントとした環境マネジメントシステム推進体制を構築し、取組みを進めています。



## 環境保全の「3つの柱」

当行では、以下の活動を「3つの柱」と位置づけ、環境保全活動に取り組んでいます。

**1** 銀行本来業務による  
環境保全活動

環境配慮型金融商品販売を通じてお客さまの環境改善へ貢献する

**2** 自らの環境負荷  
低減活動

省エネ・省資源に努め環境負荷低減とコスト抑制を図る

**3** 地域貢献と  
環境教育の充実

環境ボランティア活動などを通じ地域貢献に努める

→ 活動の詳細については、37ページ～42ページをご覧ください

## 環境保全活動のあゆみ

【銀行界初】	1991年11月	「古紙の回収・再生・利用」の一貫システムを構築
【金融機関初】	1992年11月	CD・ATMジャーナル紙に再生紙を使用
【地方銀行初】	1999年3月	ISO14001認証を取得(本店ビル)
【銀行界初】	2005年7月	環境会計(2004年度分)導入・公表
【銀行界初】	2005年12月	2005年度地球温暖化防止活動 環境大臣賞受賞
	2009年1月	「八十二の森」活動開始
【金融機関初】	2017年2月	使用済みの制服を再利用するケミカルリサイクル実施
【金融機関初】	2017年2月	ペーパーラボ導入
	2017年7月	戸隠森林植物園内の「森林学習館」のネーミングライツ取得
【銀行界2社目】	2018年8月	環境省エコ・ファースト企業認定
	2020年3月	TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言に賛同
【県内金融機関初】	2020年6月	長野県内6店舗において信州産CO <sub>2</sub> フリー電力購入を開始
	2021年5月	棚田保全活動開始
	2023年2月	本店ビル3棟において信州産CO <sub>2</sub> フリー電力購入を開始 (2023年度当行全体の再エネ比率が5%→50%達成予定)
【銀行界初※当行調べ】	2023年6月	2022年度温室効果ガス(CO <sub>2</sub> )排出量ネット・ゼロ達成(スコープ1,2)

## 棚田保全活動

長野県には、伝統・文化、美しい景観を作り出している棚田が数多くあり、「つなぐ棚田遺産」(農林水産省、2022年2月)において、認定地区数全国3位に選ばれています。このような棚田の保全に貢献するため、千曲市埴捨及び上田市稲倉の2カ所で、役職員やその家族が稲作に取り組んでいます。

